



年 組 名前

道新で
ワークシート

正月飾りの松 威勢良く競り



正月飾り向けの松の取引が行われた「松大市」
 11月7日、札幌花き地方卸売市場（井上浩明撮影）

冬
点描
札幌圏

正月飾りに使われる松を取引する「松大市」が7日、札幌花き地方卸売市場（札幌市白石区）で開かれた。茨城や福島、愛媛産を中心とした青々とした松が並び、場内には競り人たちの威勢の良い掛け声が響いた。

今年は生青年数が3〜4年と短い「若松」が18万本、根がついたままの「根引松」と長い葉が広がる「大王松」がそれぞれ1万本など、例年並みの計約30万本が入荷された。家庭やホテルなどの正月飾りや生け花として使われるという。

午前8時、ブザーの音とともに始まった競りには、札幌や近郊の約100業者が参加。業者の担当者らは希望の価格や本数を指のサインで示し、次々と競り落としていた。

卸売業の札幌花き園芸の田嶋久嗣社長は「松は幸せを呼ぶ長寿の植物。来年が良い年であるように、各家庭で飾っていただければ」と話した。

正月を彩る生け花材料に欠かせないセンリョウ（千両）を取引する「千両大市」は14日に行われる予定。

（竹田菜七）

2022年も残り1カ月を切り、札幌圏で新年の準備が始まっている。本格的な冬を迎えた札幌圏を歩き、街の話題や冬の風景を紹介する。

2022年12月8日（木）朝刊 札幌市内 17ページ

- ①「松大市」に入荷された約30万本の松の中で「根引松」は何本入荷されたでしょう。
- ②「松大市」で取引された松は、正月飾り以外に何に使われるでしょう。
- ③松はどのような植物だと言われていますか。文中から書き抜きましょう。